和歌山大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:「夏季インターンシップと事後指導」(1単位)

※事後学習と実習を通じ、30時間で1単位

●実習先企業等:湯浅醤油有限会社

●実習場所:和歌山県湯浅町

●参加対象者:経済学部 (その他全学部)

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:15日間

<取組の概要>

大学のコーディネーターと受入先企業とが協働して実習内容を構築する実践型インターンシップ。外国人観光客を呼び込むための情報発信・仕掛けづくりプロジェクト。





<取組の具体的な内容>

醤油発祥の地で、醤油蔵見学もでき、様々なオリジナリティ溢れる醤油関連商品も製造・販売している会社がフィールド。近年増加傾向にある、アジアを中心とした外国人観光客をさらに呼び込むための戦略を考え、情報発信ツールの作成等を行う。外国人向けの商品POPや工場見学の説明パネルを作成し、外国人にとってやさしい工場見学をめざす。また地域から地元の産業(湯浅醤油)を海外に発信するフェイスブックを活用し湯浅醤油、地域全体の観光をPR。

和歌山大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:「インターンシップA~E」(1~8単位)

※実習30時間を目途に1単位付与

●実習先企業等: NPO法人ジョイ・コム

●実習場所:和歌山県和歌山市

●参加対象者:観光学部 (その他全学部)

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:19日間

<取組の概要>

大学のコーディネーターと受入先企業とが協働して実習内容を構築する実践型インターンシップ。障がい者の雇用の場を生み出す飲食・食品事業の立ち上げプロジェクト。







<取組の具体的な内容>

障がい者が働く、チョコレート食品の加工工房とカフェを兼ねた店舗を新たに立ち上げる計画・準備に参画。テナント周辺の市場調査、他地域・周辺のカフェ調査、ショコラティエや設計士との打ち合わせなどを実施。カフェのコンセプト・ターゲットから提供メニュー、製造・販売方法の工夫、内装の工夫、広告宣伝方法など各観点から構想をまとめた。この案を活かし、同法人では立ち上げを進めている。前年度のPBL型授業で同法人の同テーマについて企画提案に取り組み、その受講生などがインターンシップにも参加し発展的な活動に至っている。

大阪府立大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:教育福祉インターンシップA (2単位) ※80時間以上で2単位

●実習先機関: 小・中学校、児童デイサービス、障害者支援施設、

震災ボランティア ほか

●実習場所:大阪府内 ほか

●参加対象者:地域保健学域1~3回生、人間社会学部4回生

●実 習 期 間: 6月~9月
●実 習 日 数:10日間程度(80時間以上)

<取組の概要>

学生の興味・関心と教員が提供できるフィールドをマッチさせ、学校やNPOにおける活動、福祉施設など、さまざまな機関でのインターンシップの機会を提供する。教育や社会福祉現場での経験や学びが、大学生の就業力の育成につながる。また、インターンシップの経験から、社会問題の構造や支援の関わりについて理解することを狙いとしている。

事前学習	インターンシップ活動	報告会
 <基本的事項の確認> ・社会人としてのマナー ・受け入れ先の現場について事前 学習し、自分なりの問題関心を もつ ・活動を通じて学びたいこと、身に つけたいことなど、目的をもつ ・コミュニケーションの重要性 	<各自、受け入れ現場にて活動> ・業務や会議の見学 ・施設利用者、子供達との活動やサポート ・スクールソーシャルワーカーの業務に同行 など ※活動中は内容を日誌に記録。	<振り返りと プレゼンカの育成> ・目的を持って行動できたか ・自分の将来に繋がる何かを 得る事ができたか ・人前でいかに簡潔に 要点をまとめ話すことが できるか ・他の人のプレゼン内容に 興味を持ち、自分に置き 換え考えることができたか

<取組の具体的な内容>

教育に興味のある学生は地域の小・中学校で、福祉に興味のある学生は介護施設やボランティア団体で、その他にも多岐にわたる機関でそれぞれ指示される業務に従事した。 事後報告会は、学生同士、また教員からの質疑応答を交えることで、発表者が緊張感を持ち、自分の意見を的確にまとめる力の必要性を実感する場となった。

兵庫県立大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:工学部インターンシップ(2単位)

(単位評価は実習報告書・報告会で判定)

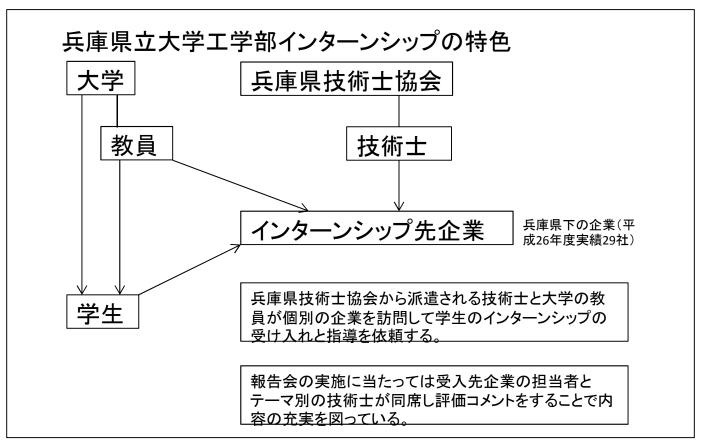
- ●実習先企業等:ショウワグローブ株式会社
- ●実習場所:兵庫県姫路市
- ●参加対象者:工学部3年生
- ●実習期間:8月18日~29日

●実習日数:12日間

<取組の概要>

前期の科目として設定。

実施前にビジネスマナー講義や安全教育を行い、実習企業を選定する。 実習は地元企業中心に夏期休暇中に実施。インターンシップ終了後に 実習報告書にもとづいた討論や実習先関係者も含めプレゼン発表を 行い単位認定する。



<取組の具体的な内容>

まず、安全講習を受講した後、機械の自動化のモデルとして交通信号の制御に関する実習を実施した。具体的には、LEDを使った3色信号が4基配置された交差点のモデルを製作し、その点灯シーケンスをコンピュータによって制御した。

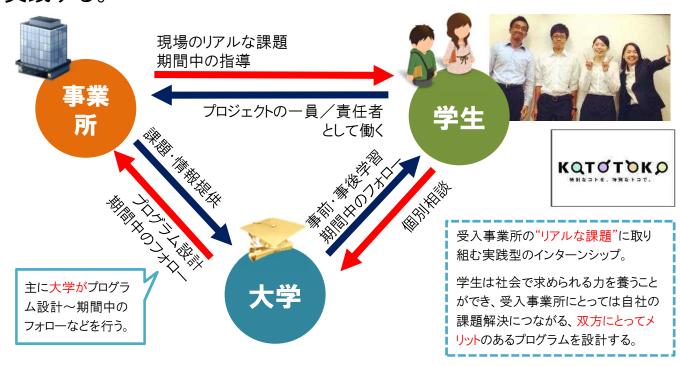
さらに、押しボタン信号の動作や、時間によって点滅モードに移行する動作などについても、プログラミングにより実現した。

今回の実習で、機械とコンピュータによる制御の一端に触れることができ有意義であった。

- ●授業科目名:インターンシップ実習(2単位)
- ※インターンシップに関する科目は「インターンシップ基礎」「インターンシップ実習」の2科目、各2単位。「インターンシップ基礎」の内容は事前学習、「インターンシップ実習」は実習と事後学習。
 実習先企業等: 株の一力ルアンドパーティ
- ●実 習 場 所:京都府京都市
- ●参加対象者:2-3年次生、全学部
- ●実 習 期 間:8月~9月 ●実習日数:20日間

<取組の概要>

大学のコーディネーターと受入先企業とが協働して実習内容を構 築する実践型インターンシップ。企業、団体に向けての営業活動を 実践する。



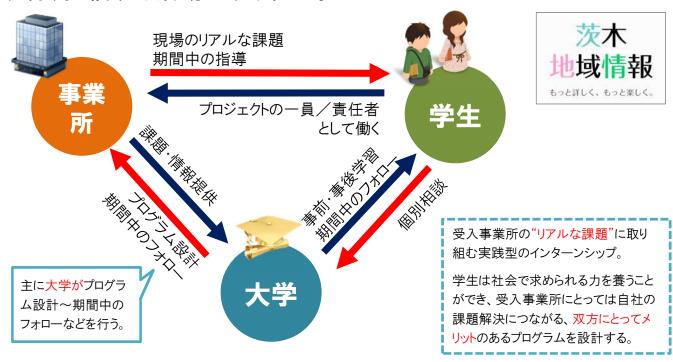
<取組の具体的な内容>

(株)ローカルアンドパーティは京都・大阪を中心とした、パーティ・宴 会・会議・イベント会場等の検索サイト「KOTOTOKO」の運営・管理を 行う。居酒屋ではない会場が掲載されており、忘新年会や歓送迎 会、結婚式の二次会などの個人利用だけでなく、企業・団体のパー ティーや接待、重要なイベントや会議など、特別な機会に利用する 会場を検索できるサイトを運営している。インターン生は、会場検 索サイト「KOTOTOKO」を利用する新規ユーザーを獲得するため、同 社の社員として企業・団体等に向けて営業活動を実施。また、イン ターネットでのマーケティング業務やサイトの改善なども行う。

- ●授業科目名:インターンシップ実習(2単位)
- ※インターンシップに関する科目は「インターンシップ基礎」「インターンシップ実習」の2科目、各2単位。「インターンシップ基礎」の内容は事前学習、「インターンシップ実習」は実習と事後学習。
- ●実習先企業等:(株)キャッチアップ
- ●実習場所:大阪府茨木市
- ●参加対象者:2•3年次年、全学部
- ●実 習 期 間:8月~9月 ●実 習 日 数:20日間

<取組の概要>

大学のコーディネーターと受入先企業とが協働して実習内容を構築する実践型インターンシップ。大学の地元茨木市の地域情報を取材、発信する活動に取り組む。



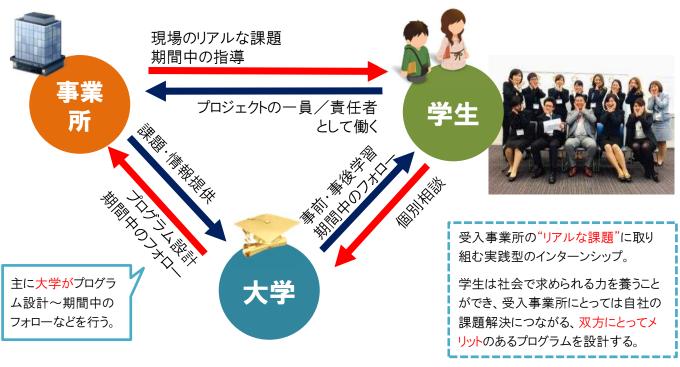
<取組の具体的な内容>

(株)キャッチアップは、JR茨木駅前に店舗を構える地域密着型の不動産業。地域の活性化に寄与するさまざまな活動に積極的に関わっている。昨年より、茨木好きによる茨木好きのための情報発信ツールとしてFacebookページ「茨木地域情報」を立ち上げた。飲食店、美容室、学校、塾、病院、文化教室など茨木の魅力的なお店を取り上げて発信している。インターン生はチームでFacebookページ「茨木地域情報」に掲載するお店や施設を回り、インタビューや写真撮影を行い、内容をWebで発信する。

- ●授業科目名:インターンシップ実習(2単位)
- ※インターンシップに関する科目は「インターンシップ基礎」「インターンシップ実習」の2科目、各2単位。 「インターンシップ基礎」の内容は事前学習、「インターンシップ実習」は実習と事後学習。
- ●実習先企業等:(株)シーズクリエイト
- ●実習場所:大阪府八尾市
- ●参加対象者:2-3年次生、全学部
- ●実 習 期 間:8月~9月 ●実 習 日 数:25日間

<取組の概要>

大学のコーディネーターと受入先企業とが協働して実習内容を構築する実践型インターンシップ。学生に知られていない魅力的な中小企業を発掘し、取材する。



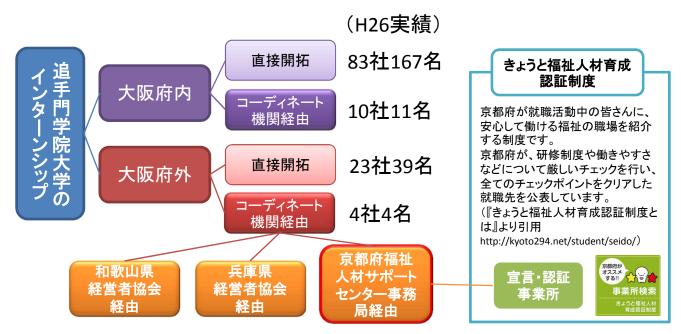
<取組の具体的な内容>

(株シーズクリエイトは、商業印刷を中心とする印刷、企画制作業を行っている。インターンシップでは、地域活性化に関わるさまざまなプロジェクトを行うCSR室の業務に携わる。特に、ミライ志向のある企業を広く社会に伝え、ミライを担う若者の「働く」価値観を変革する『ミライ企業プロジェクト』の一員として活動する。魅力的な中小企業のリストアップ、企業へのアポイントと経営者へのインタビュー取材などを行う。また、企業から与えられるテーマに対して、学生がチームになり課題解決策を提案をする、「ミライキャリアプログラム」に参加。テーマに対する企画立案を行い、企業へ提案する。

- ●授業科目名:インターンシップ実習(2単位)
- ※インターンシップに関する科目は「インターンシップ基礎」「インターンシップ実習」の2科目、各2単位。 「インターンシップ基礎」の内容は事前学習、「インターンシップ実習」は実習と事後学習。
- ●実習先企業等: 京都府福祉人材サポートセンター事務局経由の事業所
- ●実習場所:京都府
- ●参加対象者:2-3年次生、全学部
- ●実習期間:8月~9月 ●実習日数:実習先による

<取組の概要>

大阪府外でも実習先の開拓を進めている。今年度は、京都府福祉 人材サポートセンター事務局(京都府事業受託先)の支援を受け、 福祉事業所へインターンシップ学生派遣を行った。



<取組の具体的な内容>

大阪府外へのインターンシップについては、平成26年度実績で 兵庫県 12社17名、京都府 8社15名、滋賀県 5社8名、奈良県 1社1名、 和歌山県 1社1名、の派遣となっている。このうち京都府の2名は京都 府福祉人材サポートセンター事務局(以下「センター」)のコーディネート によるものであった。きょうと福祉人材育成認証制度に基づいた、きょう と福祉人材育成認証事業所・人材育成宣言事業所に限って実習先が 選定されていることから、安心して学生を派遣することが出来る。学生 は、各事業所において現場業務に携わった。また、事前事後学習につ いても独自に実施されており、各事業所で働く社会人の声も交えなが ら、福祉業界についての理解と学びを深める内容となっている。

大阪音楽大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名: インターンシップ特別実習 Ⅰ・Ⅱ(1~2単位※)

※ 45時間以上で1単位付与。合計2単位まで。2010年度以前の入学学生は90時間以上で2単位。

●実習先機関:公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

●実習場所:大阪府豊中市 ほか

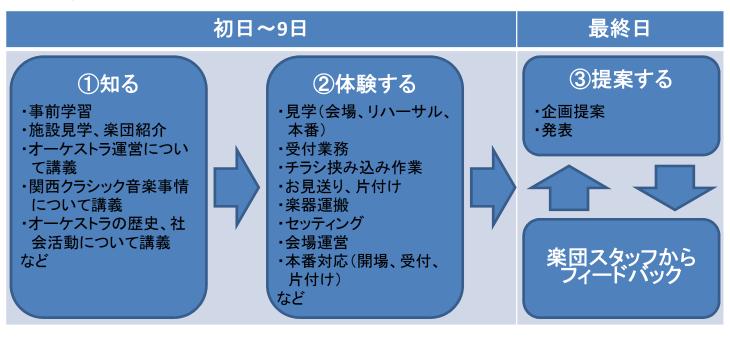
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:10日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」「提案する」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<取組の具体的な内容>

①知る

実習前に楽団の歴史、演奏会、プロフィール等を確認し、実習にそなえる。 初日から数日は、楽団の紹介からオーケストラの運営業務、歴史、関西クラシック音楽事情など業界に関する学習を行い業界を知る。また、楽団についての学 習も行い、運営や社会活動などを学ぶ。

②体験する

実際に施設・会場見学や演奏会本番の準備からリハーサル、本番、片付けまでの業務を実際に体験する。

③提案する

最終日には「私の企画は採用されるか」をテーマに作成した企画のプレゼンテーションを行う。優秀な企画は採用されることもある。 楽団スタッフや他大学の参加者からフィードバックをもらい、深める。

大阪音楽大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名: インターンシップ特別実習 I・II (1~2単位※)

※ 45時間以上で1単位付与。合計2単位まで。2010年度以前の入学学生は90時間以上で2単位。

●実習先機関:大和高田市教育委員会 文化振興課 さざんかホール

●実習場所:奈良県大和高田市

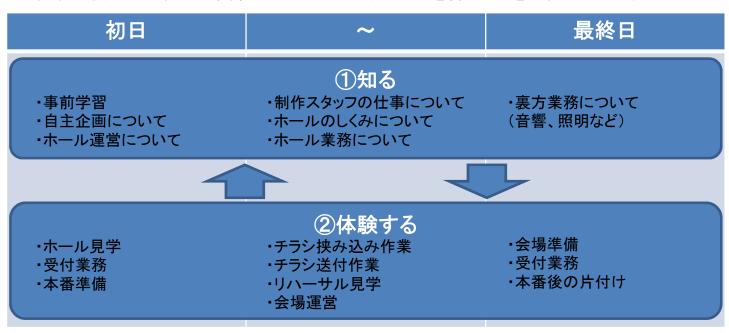
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:5日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<u><取組の具体的な内容></u>

①知る

実習前に機関の概要を確認し、実習にそなえる。

実習中は、初日から最終日にかけて、地方の文化ホールに関する様々な業務 およびホールの仕組み(構造)を学び、地方ならではのホール事業について知識 を深める。

また企画運営にあたり、様々な企業・団体・地域とのつながりを知り、業界について学ぶ。

②体験する

ホール施設を見学し、実際にイベント本番の準備からリハーサル、本番、片付けまでの業務を体験する。

一貫して体験することで、催し物を成功させるためのあらゆる業務を、表の部分だけでなく裏方の部分からも体験できる。

大阪音楽大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ特別実習 Ⅰ・Ⅱ(1~2単位※)

※ 45時間以上で1単位付与。合計2単位まで。2010年度以前の入学学生は90時間以上で2単位。

●実習先機関:ロマン楽器株式会社

●実習場所:滋賀県草津市

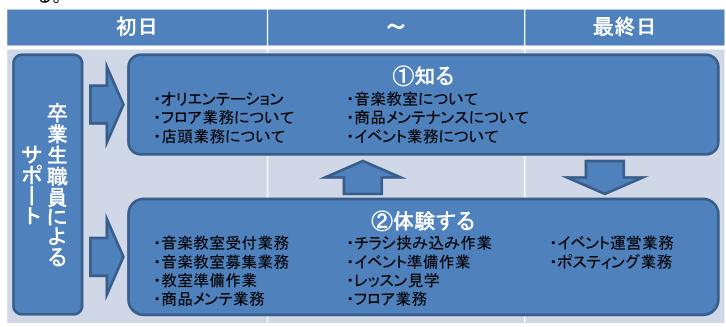
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:5日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」「教える」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<取組の具体的な内容>

①知る

実習前に機関の概要を確認し、実習にそなえる。

初日から最終日にかけて、楽器店に関する様々な業務および音楽教室に関する業務を学ぶ。また、自主企画のイベント業務なども学び、楽団等の団体や地域 とのつながりを知る。

②体験する

実際に店舗での販売業務、商品メンテナンス作業、音楽教室に関する業務、広報などを体験する。コンクールなど、併設ホールでの業務を体験する。

◆卒業生スタッフによるサポート

本学卒業後、ロマン楽器株式会社職員として働いているスタッフが、インターンシッププログラムを中心的にサポートしている。

大阪成蹊大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ1、2(2単位)

※ 事前学習6コマ、就業体験(実習70時間)、事後学習6コマで2単位。

●実習先企業等:情報・通信システム開発・運用関連企業

●実 習 場 所: 大阪府大阪市

●参加対象者:マネジメント学部2、3年生

●実習期間:8月 ●実習日数:10日間

<取組の概要>

実習先企業・団体の概要調査や業界研究などの事前学習を行ったうえ、 受け入れ先企業・団体で10日間実習を受ける。実習後結果のまとめを 行うとともに、合同発表会で発表する。全体を通じて単位認定する。

関連授業

インターンシップ支援の全体概要

学年	期	授業				
1年	後期	キャリアデ	インターンシップ1、インターンシップ2(授業)計画			
		ザイン1	学年	時期	取組内容	特 徴
				前期末	募集ガイダンス	
2年	前期	キャリアデ		4月	プレ授業	
		ザイン2	0.5	5月	面接•書類選考	学生と企業のマッチング
			2年	6月	オリエンテーション	
	後期	キャリアデ			事前学習	業界·企業研究
		ザイン3		_	マナー研修	外部マナー講師による
3年	前期	キャリアデ		7月	企業•団体事前訪問	
		ザイン4	3年	8月 9月	インターンシップ	教員訪問による挨拶 ヒアリング・激励
	後期	キャリアデ		10月	事後学習	振返と業界・企業研究
		ザイン5		11月	合同発表会	2年生は全員参加
	キャリア教育委員会による教職一体での支援					

<取組の具体的な内容>

2、3年生を対象に課題処理能力と行動力、協働力を育成する。学部のキャリア教育委員会をベースに教職員一体となって学生を支援する。当該実習先では、会議への参加、営業活動体験、セミナー見学を体験。営業活動体験では、ライセンス確認作業、サーバー室見学、クライアント入れ替え作業の立ち合い、PC入れ替え作業、配線処理、スイッチャー捜索、機器設置のための下見、見積もり書の提示などを体験した。10日間を通じて、人間関係の大事さ、情報社会においての情報の重要性、営業としてのあるべきすがた、他人に自分の思いを伝える難しさなどを学んだ。

大阪成蹊大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:専門インターンシップ(2単位)

※ 事前学習6コマ、就業体験(実習70時間)、事後学習6コマで2単位。

●実習先企業等:共働学舎新得農場

●実 習 場 所:北海道上川郡新得町、上富良野町、池田町

●参加対象者:マネジメント学部3年生 5名

●実習期間:9月 ●実習日数:8泊9日

<取組の概要>

北海道の経済基盤である農業ビジネスの成功事例について 学び、農場での実体験や研修を通じて、総合的に食ビジネ スについて考察する。

関連授業

インターンシップ支援の全体概要

学年	期	授業				
1年	後期	キャリアデ	イン	ターンシ	/ップ1、インターンシップ2((授業)計画
		ザイン1	学年	時期	取組内容	特 徴
				前期末	募集ガイダンス	
2年	前期	キャリアデ		4月	プレ授業	
		ザイン2	0/=	5月	面接•書類選考	学生と企業のマッチング
			2年	6月	オリエンテーション	
	後期	キャリアデ			事前学習	業界•企業研究
		ザイン3			マナー研修	外部マナー講師による
3年	前期			7月	企業•団体事前訪問	
		ザイン4	3年	8月 9月	インターンシップ	教員訪問による挨拶 ヒアリング・激励
	後期	キャリアデ		10月	事後学習	振返と業界・企業研究
		ザイン5		11月	合同発表会	2年生は全員参加
	キャリア教育委員会による教職一体での支援					

<取組の具体的な内容>

北海道で大成功している農業ビジネス従事者の話を直接聞き、また農業や酪農の実体験や見学などを通じて、食ビジネスの重要性を体感して、理解を深める。共働学舎新得農場のほか工藤農園、多田農園、池田ワイン城で、野菜の収穫、選別、出荷、牛舎の清掃、牛の搾乳、豚の杭柵、レストラン手伝い、夕食作り、薪割りなどを体験。授業計画等は通常のインターンシップ授業に準じている。

大手前大学におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ(2単位)

※ 事前事後学習に全て参加し(欠席は認めない)、且つ5日間以上の実習で2単位付与。

●実習先企業等:(株)カース・キャリアセンター

●実習場所:大阪府大阪市中央区

●参加対象者:全学部2•3年次生

●実習期間:8月22-25~29日、9月10~13日

●実習日数:10日間

<取組の概要>

・実習先企業・団体の概要調査および業界研究、マナー教育等の事前研修を行ったうえで、10日間の実習を実施。

「自分力の向上」「仕事体験」「実践力」をキーワードとした実習プログラムの実施。

・実習後、グループワークによる振返りを行い、事後報告プレゼンテーションを実施。

・プレゼンテーションは映像撮影し、大学独自の学習ネットワークシステムに映像ポートフォリオとして蓄積。

〈事後報告プレゼンテーション授業のイメージ〉



〈映像ポートフォリオのイメージ〉



<取組の具体的な内容>

○2・3年次生を対象に、就労に対する意識を高め、自身が描くキャリアデザインをより明確なものにすることを目的とする。事前学習では、グループワークによる動機づけ(参加目的の共有)や実習先企業・団体の概要調査および業界研究、マナー教育等を行った。

○実習では、自己分析や自己表現、対人関係スキルなどを磨く「自分力の向上」、フリーペーパーの企画編集や記事制作などの「仕事体験」、そして「実践力」として観察力や対話力を身につけるプログラムを実施した。

〇インターンシップ事後授業の中では、グループワークによる実習成果の共有を行い、事後報告プレゼンテーション資料を作成。全参加学生が内省を深めるため、事後報告プレゼンテーションを実施。モチベーション向上のため、発表優秀者を5名選出し、授業最終日に発表優秀者によるプレゼンテーション大会を開催。

〇プレゼンテーションの様子は全参加学生分撮影し、映像データは学 生の成長記録、振返りの材料として映像ポートフォリオに蓄積する。

神戸学院大学(法学部)におけるインターンシップの事例

●授業科目名:キャリアトレーニング II・IV(1単位)

※実習時間21時間以上および事前・事後研修参加で1単位認定。

●実習先企業等:兵庫県警察本部

●実習場所:兵庫県神戸市

●参加対象者:法学部の2・3年次生

経済学部の2・3年次生

経営学部の3年次生

人文学部の3・4年次生

防災・社会貢献ユニットの3・4年次生

●実習期間:9/8(月)~9/10(水)

●実習日数:3日間

<取組の概要>

普段目にすることのない警察署や交番を見学することで、地域に 密着し、市民の安全を守るために働く警察官の幅広い業務を体感 する。更に、その中で警察官になったつもりで活動することを目的 としている。警察業務説明、庁舎見学、班別検討会、少年補導活 動の計画及び実施、被害者講話の聴講、その他警察業務に関す る体験実習。

インターンシップの流れ(本学全体)

事前研修 7月13日(日) 1日目 社会人講習、グループワーク、先輩との座談会 等 2日目 マナー研修、日報の書き方 等

実習

8月7日(木)~ 9月19日(金) 各実習先にて就業体験を行う。日報・実習レポートを作成し、企業の方より評価票をご記入いただく。(希望者は後日フィードバック)

事後研修

____ 10月 5日(日) 551日 10月12日(日) グループワークを通してインターンシップの振り返りを行う。 今後の効果的な行動に繋げることを目的としている。

<取組の具体的な内容>

主な実習内容は、交通安全キャンペーンや神戸空港内での防犯キャンペーンへの参加、護身術をメインにした逮捕術訓練体験、防犯活動や鑑識活動の体験、緊急配備訓練の体験。また、被害者支援に関する制度について学び、自らが被害者の場合を想定して検討を行う。被害者遺族講話では、講演後の質問会等を通じて、人の思いやコミュニケーションの大切さについて学ぶ。

神戸学院大学(人文学部)におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップⅣ

(キャリア支援斡旋夏季インターンシップ)(1単位)

※実習時間21時間以上および事前・事後研修参加で1単位認定。

●実習先企業等:株式会社りそな銀行

●実習場所:大阪府大阪市(本社)、兵庫県明石市(営業店)

●参加対象者:法学部の2・3年次生

経済学部の2・3年次生

経営学部の3年次生

人文学部の3・4年次生

防災・社会貢献ユニットの3・4年次生

●実習期間:8/14(木)~8/22(金)

休日: 土日祝

●実習日数:7日間

<取組の概要>

銀行業務についての理解を深めることを目的として、法人・個人等各部門の業務概要講義とともに、職場体験を組み込んだカリキュラムを体験。オリエンテーション、営業店実習、店舗企画/商品・サービス開発/ブランド戦略に関する準備および発表会。

インターンシップの流れ(本学全体)

事前研修	7月13日(日) 両日 7月20日(日)	1日目 社会人講習、グループワーク、先輩との座談会 等 2日目 マナー研修、日報の書き方 等
実習	8月7日(木)~ 9月19日(金)	各実習先にて就業体験を行う。日報・実習レポートを作成し、企業の方より評価票をご記入いただく。(希望者は後日フィードバック)

事後研修

10月 5日(日) うち1日 10月12日(日)

グループワークを通してインターンシップの振り返りを行う。 今後の効果的な行動に繋げることを目的としている。

<u> <取組の具体的な内容></u>

本社においては他大学の学生とともに、融資・為替・預金の基本3業務に加え、信託・手形割引・住宅ローンなどの銀行業務について学ぶ。営業店実習では、ロビーでの接客および商談への同行をはじめ、銀行の起源や歴史、為替、国債、融資、相続税の改正に伴ったリテールの業務を学ぶ。また、りそなブランド戦略の考案や発表を通じて、銀行業務における問題解決手法の理解を深め、りそな銀行の強みや特徴を理解する。

神戸学院大学(経済学部)におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ Ⅱ(1単位)

※実習時間21時間以上および事前・事後研修参加で1単位認定。

●実習先企業等:明石市役所

●実 習 場 所:兵庫県明石市

●参加対象者:法学部の2•3年次生

経済学部の2・3年次生

経営学部の3年次生

人文学部の3・4年次生

防災・社会貢献ユニットの3・4年次生

●実習期間:8/25(月)~8/29(金)

●実習日数:5日間

<取組の概要>

市役所の業務は幅広く、実習を通じて大きく視野を広げることを目的として、現場での実習をはじめとした行政事務の補助を行う。

研究集会アンケート集計、厚生会議録作成、厚生館事業参加、住宅貸付金事業の資料整理、市長懇談等

インターンシップの流れ(本学全体)

事前研修

7月13日(日) 7月20日(日)

両日

1日目 社会人講習、グループワーク、先輩との座談会 等

2日目 マナー研修、日報の書き方 等

実習

8月7日(木)~ 9月19日(金) 各実習先にて就業体験を行う。日報・実習レポートを作成し、企業の方より評価票をご記入いただく。(希望者は後日フィードバック)

事後研修

___ 10月 5日(日) 10月12日(日) グループワークを通してインターンシップの振り返りを行う。 今後の効果的な行動に繋げることを目的としている。

<取組の具体的な内容>

人権推進課においては、すべての人びとがしあわせに暮らせる社会を実現するための人権啓発活動、福祉の向上や人権啓発活動の拠点として各種事業の展開を図る厚生館での事業体験などを通じ、本市における人権施策の取組について学ぶ。また、人権感覚あふれる共生社会を実現するためには、どのような取組が必要なのか、若い感性と柔軟な思考から提言を行う。

神戸学院大学(経営学部)におけるインターンシップの事例

●授業科目名:キャリアトレーニング Ⅱ(1単位)

※実習時間21時間以上および事前・事後研修参加で1単位認定。

●実習先企業等: 高見株式会社 (TAKAMI BRIDAL)

●実習場所:兵庫県神戸市

●参加対象者:法学部の2・3年次生

経済学部の2・3年次生 経営学部の3年次生 人文学部の3・4年次生

防災・社会貢献ユニットの3・4年次生

●実 習 期 間:9/5(金)~9/16(火)休日うち3日

●実習日数:9日間

<取組の概要>

ウエディングにまつわる全てをプロデュースする総合ブライダル企業にて、お客様の一生に一回の最高の瞬間の為に大切にしている事を体感する。事前研修、オリエンテーション、事務処理、店内整理、入出荷作業、接客補助等

インターンシップの流れ(本学全体)

事前研修	7月13日(日) 両日 7月20日(日)	1日目 社会人講習、グループワーク、先輩との座談会 等 2日目 マナー研修、日報の書き方 等
実習	8月7日(木)~ 9月19日(金)	各実習先にて就業体験を行う。日報・実習レポートを作成し、企業の方より評価票をご記入いただく。(希望者は後日フィードバック)
事後研修	10月 5日(日) うち1日 10月12日(日)	グループワークを通してインターンシップの振り返りを行う。 今後の効果的な行動に繋げることを目的としている。

<取組の具体的な内容>

ブライダルコスチューム部門では、コスチュームショップでの接客補助業務、衣裳全般の管理、事務作業等、衣装を通してお客様との関わりを学び、ブライダルスタイリストの仕事を体感。チャーチウェディングプロデュース部門では、挙式に向けての事前準備、挙式当日の列席者様やゲストの方のご案内、事務作業等、ブライダルプランナーの仕事を体感。商品管理部門では、レンタルコスチュームのメンテナンス、セッティング業務、コスチューム管理等、バックヤードの仕事を体感。

神戸学院大学(防災・社会貢献ユニット)におけるインターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ(1単位)

※実習時間21時間以上および事前・事後研修参加で1単位認定。

●実習先企業等:株式会社クリムゾンフットボールクラブ

(ヴィッセル神戸)

●実 習 場 所:兵庫県神戸市

●参加対象者:法学部の2•3年次生

経済学部の2・3年次生 経営学部の3年次生

人文学部の3・4年次生

防災・社会貢献ユニットの3・4年次生

●実 習 期 間:9/8(月)~9/20(土)

休日: 土日祝(但し、ホームゲーム時は出勤)

●実習日数:10日間

<取組の概要>

Jリーグクラブの運営全般をあらゆる部署を体験する事で、業界を幅広く理解するプログラム。各部署での体験実習、全体発表会、営業同行、アシスタント業等

インターンシップの流れ(本学全体)

事前研修7月13日(日)
両日
7月20日(日)1日目 社会人講習、グループワーク、先輩との座談会 等
2日目 マナー研修、日報の書き方 等

実習

8月7日(木)~ 9月19日(金) 各実習先にて就業体験を行う。日報・実習レポートを作成し、企業の方より評価票をご記入いただく。(希望者は後日フィードバック)

事後研修

10月 5日(日) うち1日 10月12日(日)

グループワークを通してインターンシップの振り返りを行う。 今後の効果的な行動に繋げることを目的としている。

<u><取組の具体的な内容></u>

各部署での体験実習は、正社員の補助業務、営業同行、ミーティングへの参加、イベント準備等。

リーグクラブ運営業務全般での社内作業や営業活動への同行、ホームタウン活動・サッカースクール・選手寮等でのアシスタント業務の他、ホームゲーム開催に向けてのフロント業務、期間中のホームゲーム運営業務等の体験実習を行う。また、明石フットサルコートオープニングイベントや姫路駅市民応援デーPRイベントに係る業務を体験する。

大阪音楽大学短期大学部における インターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ特別実習(1単位※) ※ 45時間以上で1単位付与。

●実習先機関:公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

●実 習 場 所: 大阪府豊中市 ほか

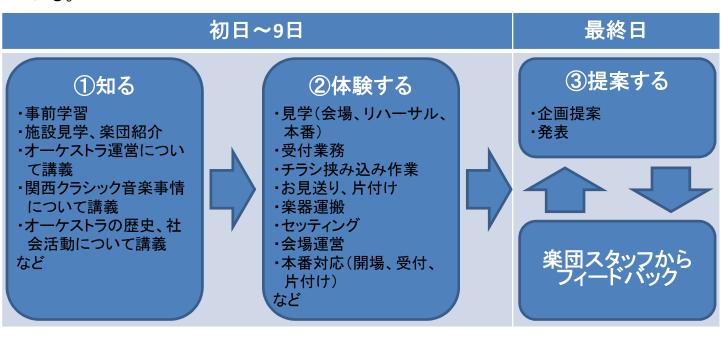
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:10日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」「提案する」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<u> <取組の具体的な内容></u>

①知る

実習前に楽団の歴史、演奏会、プロフィール等を確認し、実習にそなえる。 初日から数日は、楽団の紹介からオーケストラの運営業務、歴史、関西クラシック音楽事情など業界に関する学習を行い業界を知る。また、楽団についての学習も行い、運営や社会活動などを学ぶ。

②体験する

実際に施設・会場見学や演奏会本番の準備からリハーサル、本番、片付けまでの業務を実際に体験する。

③提案する

最終日には「私の企画は採用されるか」をテーマに作成した企画のプレゼンテーションを行う。優秀な企画は採用されることもある。 楽団スタッフや他大学の参加者からフィードバックをもらい、深める。

大阪音楽大学短期大学部における インターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ特別実習(1単位※) ※ 45時間以上で1単位付与。

●実習先機関:大和高田市教育委員会 文化振興課 さざんかホール

●実 習 場 所:奈良県大和高田市

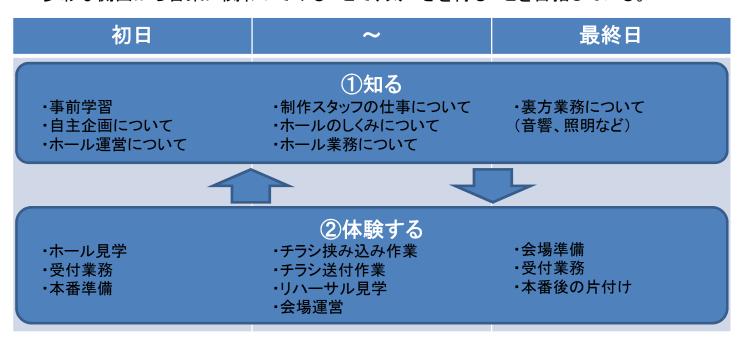
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:5日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<取組の具体的な内容>

①知る

実習前に機関の概要を確認し、実習にそなえる。

実習中は、初日から最終日にかけて、地方の文化ホールに関する様々な業務 およびホールの仕組み(構造)を学び、地方ならではのホール事業について知識 を深める。

また企画運営にあたり、様々な企業・団体・地域とのつながりを知り、業界について学ぶ。

②体験する

ホール施設を見学し、実際にイベント本番の準備からリハーサル、本番、片付けまでの業務を体験する。

一貫して体験することで、催し物を成功させるためのあらゆる業務を、表の部分だけでなく裏方の部分からも体験できる。

大阪音楽大学短期大学部における インターンシップの事例

●授業科目名:インターンシップ特別実習(1単位※) ※ 45時間以上で1単位付与。

●実習先機関:ロマン楽器株式会社

●実習場所:滋賀県草津市

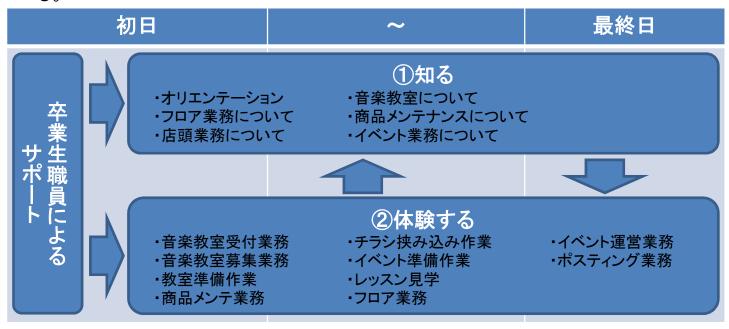
●参加対象者:全学年、全学科、全専攻

●実習期間:8月~9月 ●実習日数:5日間程度

<取組の概要>

学生が「働くとはどういうことか」「企業とはどういうところか」「自分の適性はどこにあるのか」を知るための場である。

音楽の現場での就業体験から「演奏する」だけでなく、「支える」「広める」「つくる」「教える」など多彩な側面から音楽に関わってみることで、気づきを得ることを目指している。



<取組の具体的な内容>

①知る

実習前に機関の概要を確認し、実習にそなえる。

初日から最終日にかけて、楽器店に関する様々な業務および音楽教室に関する業務を学ぶ。また、自主企画のイベント業務なども学び、楽団等の団体や地域 とのつながりを知る。

②体験する

実際に店舗での販売業務、商品メンテナンス作業、音楽教室に関する業務、広報などを体験する。コンクールなど、併設ホールでの業務を体験する。

◆卒業生スタッフによるサポート

本学卒業後、ロマン楽器株式会社職員として働いているスタッフが、インターンシッププログラムを中心的にサポートしている。